

○関東・中部地方の地震活動

2024/01/01 00:00 ~ 2024/01/31 24:00

N=25153

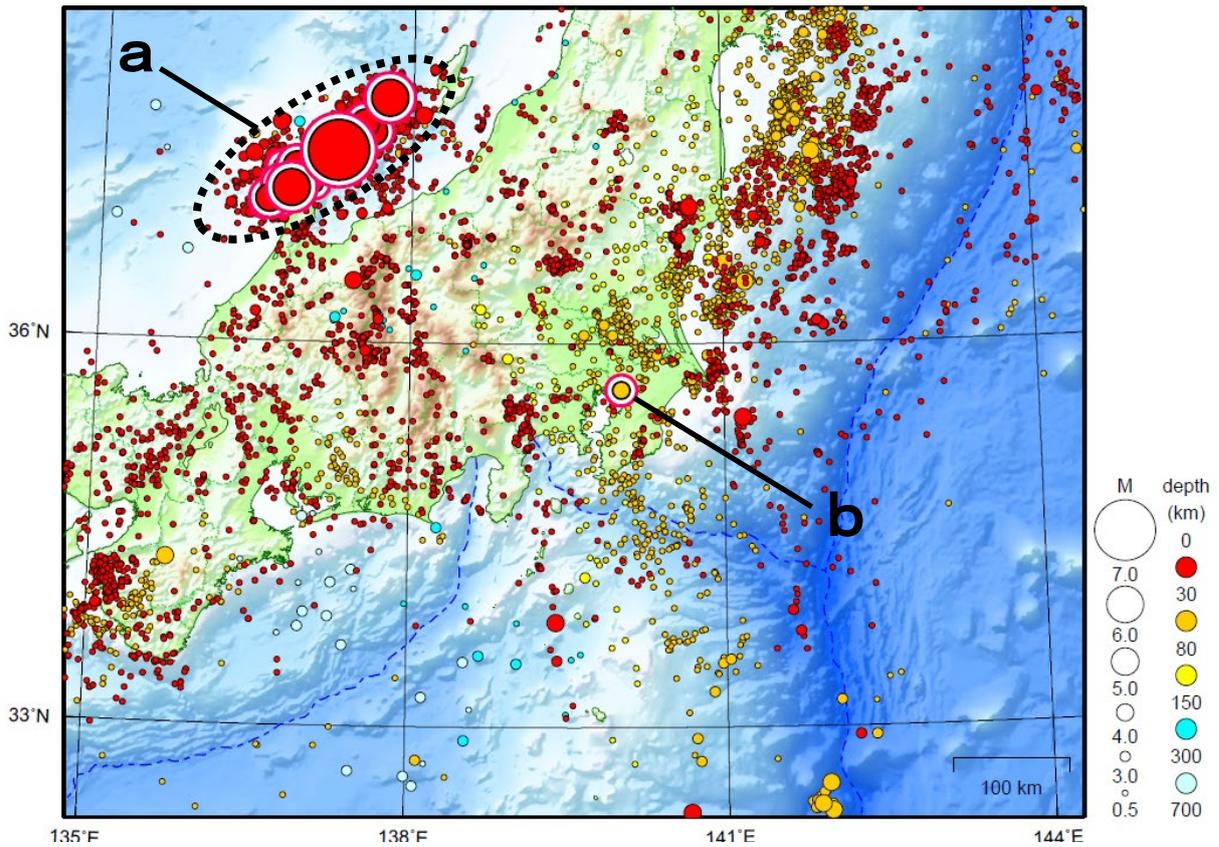


図7 関東・中部地方の震央分布図（2024年1月1日～1月31日、M \geq 0.5）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2

〔概況〕

1月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は1,604回（2023年12月は56回）であった。

1月中の主な活動は次のとおりである。

- a 1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmでM7.6の地震が発生し、石川県輪島市及び志賀町で震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測した。また、この地震により、石川県能登で長周期地震動階級4を観測したほか、北陸地方を中心に東北地方から中国・四国地方にかけて長周期地震動階級3～1を観測した。この地震により、石川県の金沢（港湾局）で80cm、山形県の酒田^{※1}で0.8mの津波を観測するなど、北海道から九州地方にかけて、日本海沿岸を中心に広い範囲で津波を観測した。この地震の震央周辺では、同日16時12分にM5.7の地震（最大震度6弱）、16時18分にM6.1の地震（最大震度5強）、6日23時20分にM4.3の地震（最大震度6弱）、9日17時59分にM6.1の地震（最大震度5強）が発生するなど活発な地震活動が継続しており、地震活動域は能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東－南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。1月1日16時以降、31日までに震度1以上

を観測した地震^{※2}が1,558回（震度7：1回、震度6弱：2回、震度5強：8回、震度5弱：7回、震度4：45回、震度3：159回、震度2：395回、震度1：941回）発生した。これらの地震により、死者241人などの被害が生じた（2024年2月14日14時00分現在、総務省消防庁による）。気象庁では、2024年1月1日に石川県能登地方で発生したM7.6の地震及び2020年12月以降の一連の地震活動について、にその名称を「令和6年能登半島地震」と定めた（p.6～11、55～114参照）。

- b 28日08時59分に東京湾の深さ73kmでM4.7の地震が発生し、東京都及び神奈川県で震度4を観測したほか、東北地方南部、関東甲信地方、新潟県及び静岡県で震度3～1を観測した（p.12、18参照）。

※1 巨大津波計による観測である。（観測単位は0.1m）

※2 震度1以上を観測した地震の回数は後日の調査で変更する場合がある。